

共同利用研究報告会 (場所：しいのき迎賓館)

2020年2月28日

13:00 - 13:10	開会の挨拶	金沢大学理事 向 智里 (予定)		
13:10 - 13:40	重点 1	国立環境研究所 地球環境研究センター	坂田 昂平	大気微量金属化学の新展開: 環日本海域の地域環境問題から全球的な気候変動へ
13:40 - 14:10	重点 2	九州大学 大学院 農学研究院	島崎 洋平	日本海から採取した海底堆積物コア - 環境DNAを用いた過去生態系の推定
14:10 - 14:20	休憩			
14:20 - 14:40	一般 1	早稲田大学	大河内 博	能登半島における大気エアロゾル中フミン様物質の動態と化学構造解析
14:40 - 15:00	一般 2	慶應義塾大学 理工学部	岩田 歩	エアロゾル表面積濃度の長期観測～長距離輸送過程における不均一反応の影響解明～
15:00 - 15:20	一般 3	気象庁気象研究所	梶野 瑞王	領域気象化学モデルによるエアロゾル粒径分布の高精度予測に関する研究
15:20 - 15:40	一般 4	戸板女子短期大学 総合教養センター	苗村 晶彦	石川県能登半島北部における渓流水質の変化に関する研究
15:40 - 16:00	一般 5	茨城大学	鳥田 敏行	ロジックモデル・指標を活用した複合領域における研究マネジメント手法の開発
16:00 - 16:10	休憩			
16:10 - 16:30	一般 6	石川県立大学 生物資源環境学部	勝見 尚也	農用地におけるマイクロプラスチックの分析方法の確立と動態把握
16:30 - 16:50	一般 7	山口大学	川村 喜一郎	海底に堆積するマイクロプラスチックの分布調査とその応用に関する研究
16:50 - 17:05	若手 1	九州大学 大学院 農学研究院	向井 幸樹	フナムシを用いた渚域のPAH類の汚染調査
17:05 - 17:20	若手 2	広島大学 生物圏科学研究科	辻 浩明	瀬戸内海の海底堆積物中多環芳香族炭化水素 (PAH) の分布
17:20 - 17:35	若手 3	京都大学 理学研究科	福田 将真	東北日本弧における山地隆起・削剥史の推定と日本海への物質輸送
17:35 - 17:50	若手 4	神奈川大学 大学院理学研究科	花塚 真史 (大平剛)	卵成熟を制御するペプチドホルモンのホッコクアカエビからの単離
18:30 - 21:00	懇親会			

2020年2月29日

9:40 - 10:00	一般 8	旭川医科大学	矢澤 隆志	環境ホルモンが生殖腺ステロイドホルモン産生に与える影響に対する評価系の確立と分子
10:00 - 10:20	一般 9	鹿児島大学	宇野 誠一	金沢市及び能登半島の周辺河口域底質の生物影響リスク評価
10:20 - 10:50	重点 3	ロシア科学アカデミー極東支部 V.I.II'chev太平洋海洋研究所	A. Charkin (長尾誠也)	環日本海域沿岸域における海底湧水の実態把握
10:50 - 11:00	休憩			
11:00 - 11:20	一般 1 0	ロシア極東連邦大学	Olga V. Nesterova	環日本海域海底堆積物における重金属の分布状況
11:20 - 11:40	一般 1 1	弘前大学 被ばく医療総合研究所	田副 博文	ネオジムおよびラジウム同位体をマルチトレーサーとした日本海における物質循環の解明
11:40 - 12:00	一般 1 2	国立研究開発法人海洋研究開発機構	熊本 雄一郎	セシウム137を用いた日本海深層水の循環に関する研究
12:00 - 13:00	昼食			
13:00 - 13:40	基調講演	総合地球環境学研究所	谷口 真人	地球環境学の統合化に向けたネクサス研究
13:40 - 14:00	一般 1 3	筑波大学 研究基盤総合センター	笹 公和	日本海と太平洋における人為起源129Iと137Csおよび36Clの降下量変動評価と海洋循環トレ
14:00 - 14:20	一般 1 4	東京大学 大学院農学生命科学研究科	鈴木 道生	カキの貝殻チョーク層の形成が海洋環境から受ける影響の解析
14:20 - 14:40	一般 1 5	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部	和田 修一	海洋酸性化が炭酸カルシウムの殻・骨格を持たない動物ホヤに与える影響の解析
14:40 - 15:00	一般 1 6	東北大学 大学院生命科学研究所	牧野 渡	環日本海域の失われた氾濫原湿地の生物相を、現在の水田から復元する
15:00 - 15:10	閉会の挨拶	環日本海域環境研究センター センター長	長尾 誠也	